

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	ママや子どもの為のレンタルフリースペース
事業名(副) ※任意	～ママのスキルや経験を活かして輝こう～

入力数 主 20 字 副 19 字

実行団体名	一般社団法人 マミーーズ
資金分配団体名	公益財団法人東近江三方よし基金

領域		分野	
<input checked="" type="checkbox"/>	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/>	①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
		<input checked="" type="checkbox"/>	②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
		<input checked="" type="checkbox"/>	③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/>	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/>	④働くことが困難な人への支援
		<input type="checkbox"/>	⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/>	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/>	⑥地域の働く場づくりの支援
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

入力数 0 字

SDGsとの関連

ゴール
_8.働きがいも経済成長も
_11.住み続けられるまちづくりを

実施時期	2021年5月 ～ 2022年2月	事業対象地域	全国 <input type="checkbox"/> 特定地域 <input checked="" type="checkbox"/> (東近江市)	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	子育て世代の保護者と子ども	事業対象者人数	1000人
------	-------------------	--------	--	---------------------------------------	---------------	---------	-------

I. 団体の社会的役割

(1)申請団体の目的
マミーーズは、平成6年に託児所「マミーーズチルドレン」として開業し、平成29年東近江市小規模認可保育園になりました。地域の方々のご協力を頂きながら、子ども達やママの思いに寄り添い子育てを支援しています。そして昨年コロナ禍に入り、仕事や集う場所を制約されたママが社会や地域と繋がるため、自分のスキルを活かしたい、そのための場を求めている声を聞き、その場所づくりをマミーーズが担いたいと考えました。
(2)申請団体の概要・事業内容等
1、東近江市認可小規模保育園（定員19人）…就労するする保護者の子どもの保育 2、一時預かり事業所（県の認可）…出産時保育、保護者の急用等の理由による一時的な保育

入力数 (1) 197 字 (2) 86 字

II. 事業の背景・社会課題

新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題
マミーーズは、25年余り地域と共に地域に根ざしながら、保護者や子ども達とともに過ごしてきました。それは変化する社会情勢の中で子育てをするママ達の声を聞きながら、また悩みを共有しながらの日々の歩みの積み重ねでした。 そして2020年、新型コロナウイルスの影響により人々の生活は大きく変わりました。保育園や幼稚園・学校が休園休校となり、 <u>仕事を持っているママは自宅待機や勤務時間が削られ、子どもと過ごす時間が大きく増えました。</u> それまで子育てママ達は、互いに情報を交換し、普段の思いや悩みを話す場を持つことで、リフレッシュし毎日の励みに変えていました。しかしコロナ禍により、集う場が一時閉鎖されたり、感染のリスクからお互いに行き来することがままならなくなりました。昨年秋頃に徐々に再開されましたが、その間に <u>孤立感を持ったママも少なくなかった</u> であろうし、 <u>仕事を辞めざるを得ない人がいる</u> ことを、日々の保育の保護者さんとの話の中から伺い知ることができました。でもまたその間に、 <u>子育てをしながら自分は何がしたいか何ができるのかを考え、今まで身につけたスキルや持っていた特技を活かし、それを社会に還元する、その社会の中で自分を発揮できる場をつくってみたいと思うママ達がいる</u> ことを知りました。 その為には <u>まず場所が必要</u> ですが、なかなか <u>誰もが利用しやすい場所が少ない</u> ことも分かりました。それなら、その場所づくりをマミーーズがお手伝いできるのではないかと考え、古民家をリノベーションして、利用しやすい形や料金体制をつくり、ママ達のスキルや特技を多くの人や社会に還元してもらい、ママがリフレッシュし、よりよい子育てに繋がるのではと考えます。

入力数 770 字

III.事業内容

(1)事業の概要

SDGsの普遍的な目標として「誰も置き去りにしない」世界の実現に向けて、ママィーズは、ママ達が子育てと両立しながら、一人ひとりのスキル、経験、才能、モチベーションを活かし周りに広げ、それをまた享受する場所と形態を構築することで、ママの「子育てとの両立」から一歩進めて「社会に活躍」する足がかりとなり、それが個人の幸せ、家族の幸せ、ひいては社会の発展に繋がると考えます。

入力数 184 字

(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態

ママィーズは、レンタルフリースペースをきっかけとして、それぞれの基盤を築き、より多くの人と関わり地域と連携しながら、いきいきとした生活になっていることを目指します。

入力数 82 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
<ul style="list-style-type: none"> ・親子、ママ、子どもたちのためにレンタルフリースペースが利用されている。 ・フリースペース（22畳）が親子の集いに利用されている。 ・フリースペース（キッチン）と隣の6畳間で親子でお菓子を焼いて茶話会が開催されている。 ・フリースペース（8畳）で手作りショップを開く。 ・フリースペース（14畳）でアロマ講座を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタルフリースペース利用日数 ・レンタルフリースペース利用者数 ・ワークショップ参加者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタルフリースペース利用日数 ・利用者の実績数 ・ワークショップ参加者数の実績数 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタルフリースペースの稼働率 ・利用者数 <p>60%</p>	2022年2月

(4)活動	時期
古民家のリノベーション	2020年11月～2021年6月
「レンタルフリースペース」の存在をママィーズのホームページやインスタグラム・無料情報誌掲載で広告宣伝をする。	2021年6月～2021年12月
また、見学会やワークショップの開催もしていく。	2021年6月～2022年2月
【マミチル.en】＝レンタルフリースペース運営開始	2021年6月～2022年2月
<ul style="list-style-type: none"> ●ママのためのフリースペース（自分を発揮できる場所） <ul style="list-style-type: none"> …自宅でするには家族に負担がかかり、店を構えるにはハードルが高く、場所が課題となり、なかなかスタートが切りにくい。 安価なレンタルフリースペースを利用することで、経済的にも気持ち的にも楽に始めることができる。 →結婚、出産などでキャリア形成が難しいママも、子育てしながら小さなスペースから始める。 →自分らしさを活かして自分のペースで、誰かの役に立つ教室を開く。 →自分のスキルや経験を社会に還元し、同時に収益をあげることでやりがいを見出す。 ア) 何かを教えたい人＝小さな教室・ワークショップ運営 イ) 自分のお店を開く＝週1回、月1回など定期的にお店を開く…例えば、手作りショップ、ネイルサロン、整体サロンなど。 ウ) 自分の活動拠点にする＝自由な発想で、自分を試す場所…アトリエ、作品展、事務所など 	
同時に、その間の子どもの預かりをママィーズチルドレンのスタッフが担うことで、より集中して取り組むことができる。その結果、ママの充実感を得ることができ、毎日の子育てにも気持ちに余裕ができ、いい影響を及ぼすと思われる。	
<ul style="list-style-type: none"> ●親子のためのフリースペース <ul style="list-style-type: none"> …子どもを持つ親同士の交流の場。互いに子育ての悩みを話したり、情報交換の場となる。 ア) くつろぎサロン イ) 子どもの記念撮影 ウ) ママ友会 ●子どものためのフリースペース <ul style="list-style-type: none"> 子どもを対象にした教室…英語教室、絵画教室など 	
<p>以上のような事を目的としたコミュニティスペースは、子育てをするママの拠りどころとなり、自分の居場所を見つけるきっかけになることを期待する。</p> <p>また現在、ママィーズチルドレンには外国籍の子どもが数名通ってきてくれ、子ども同士は国籍に関係なく遊ぶが、保護者同士の交流は言葉の壁もありなかなか難しい面がみられる。しかし、日本以外の国の文化を知るいい機会とも考えられ、フリースペースを使って多国籍料理教室などを開いたりする事で、互いに理解しあい、共に生きていく多文化共生の地域づくりにもつながると考える。</p>	

IV.事業実施体制

(1)メンバー構成と各メンバーの役割	責任者－北浦雅子、広報担当－児玉維久子、レンタル業務－北浦雅子、児玉維久子、篠山茜
(2)他団体との連携体制	<p>今後連携したい団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりネット東近江：情報発信 ・東近江市国際交流協会：多文化共生 ・まちづくり協議会：地域との連携 ・八日市子育て支援センター：子ども支援
(3)想定されるリスクと管理体制	マスク着用、検温、手指消毒、空気清浄器換気機能付きエアコン設置、空気清浄器設置、窓を開け換気する

V.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無			
新型コロナウイルス感染症に係る事業			
①本申請事業について、新型コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）	
(2)申請事業に関連する調査研究、連携の実績			
<p>平成6年「マミーズチルドレン」日野町の自宅で託児所を開業 →平成11年旧の八日市市ひばり丘町に移転（一軒家を借りる）、県に認可外保育所として登録 →平成28年5月「一般社団法人マミーズ」設立 →平成28年10月「東近江市認可地域型小規模保育所B型」として市の認可を受ける →平成29年4月1日「小規模認可保育園（19人定員）」「一時預かり事業所」として運営を開始する。0歳児・1歳児・2歳児までの子どもの保育で、常時25名前後の子どもを受け入れています。小さい保育園だからこそできる家庭的な雰囲気の中で、子どもたちが家のように安心して安全に過ごすことができることを心がけながら保育をしています。また子どもの成長につれ他のお友達や先生とのかかわりの中で社会性を身につけていくことも目指します。同時に子育てする保護者の思いや悩みを聞き、共感しながら一緒に考えたりアドバイスをし、子育ての喜びを分かち合い、また話してもらうことで日々のストレス軽減に繋がっているのではと考えます。そして毎日のママとの会話の中で、より子育てしやすい環境や地域との繋がりをどう創るか、何が出来るのかを模索し、今回の「レンタルフリースペース」を考えてみました。</p>			